

東復興本社との協議体制の構築は

山田町長／積極的に取り組む

遠藤 Jヴィレッジに立地する東

電復興本社との連携強化を図り、賠償手続き、除染、迅速な廃炉作業などに、新たなエネルギー立地地域とするために、地域住民を含めた連絡協議会などを構築すべきではないですか。

町長 町の復興のため議会、住民

と一体となった取り組みを行っていきます。また、住民が本町の復興やまちづくりに参画できる環境整備に努めます。

石炭火力発電所の誘致を

山田町長／誘致に向け最大限の努力をする

遠藤 浜通りエネルギー立地地域の

の振興を図るために、新たな火力発電所の誘致をすべきではないですか。

町長 地域経済の復興や雇用回復・

創出を図るために「世界最新鋭の石炭火力発電所」の誘致実現に最大限努力します。



遠藤 智 議員

双葉地区教育構想の行方は

山田町長／環境整備に努める

遠藤 震災前までは、

遠藤 震災前までは、4中学校が富岡高等学校と連携した中高一貫教育を実施してきましたが、現在は原子力災害により中学生は静岡県御殿場市の中学校へ、高校生は富岡高等学校の生徒としてサテライト校に通学していますが、双葉地区教育構想を取り戻すために、福島アカデミー生徒の広野中学校への就学計画をどのように考えていますか。

町長 福島第一原子力発電所事故

の収束をはじめ富岡高等学校の再開やJヴィレッジの再開、さらにはアカデミー生が寮生として生活できる環境整備に努めます。

新年度に向けた除染は

山田町長／今後においても積極的に取り組む

遠藤 ①線量低減率と数値の平均

遠藤 ①線量低減率と数値の平均値はどのような数値ですか。
②現在の放射線量広報無線の内容を改め、ホットスポットの線量該当地区や地点を測定し、広報すべきではないですか。
③生活環境エリアから道路・河川・森林エリアに至るまで安心・安全を確保するための、今後の除染計画はどのようなものですか。

町長 ①1年前と比較した町内平均

町長 ①1年前と比較した町内平均での放射線低減率は67%です。また、現在の町内での平均空間放射線量は1時間あたり0.17マイクロシーベルトです。
②広報無線については、放射線測定器が配布されたことと一般住宅等の除染がほぼ終了することから、本年末をもって取りやめをします。また、ホットスポットへの対応については、町民の協力をいただきながらホットスポットの解消に取り組めます。
③平成25年度においても、引き続き住宅に隣接する雑種地・原野や道路から20mの森林等の除染を行い生活環境の整備に努めます。



町内各所に設置されたモニタリングポスト

広野小学校6年生が議会を見学

広野小学校6年生が、社会科学習の一環として、議会を見学しました。メモをとる姿も見られ、真剣に耳を傾けていました。



私は、今日議会見学をして、長い間見ていて、とてもむずかしくて何を言っているのかあまり分からず、少しだけ分かったのが、イノシシのことや広野町復興のことなどです。

町のことをこうやって話し合っているんだなあと思いました。今日は、質問だけだったので話し合いを聞きかっただけです。でも、今日は、いい経験でした。
(根本 愛里)



広野町で決められていることは、議会で決められていることがわかりました。イノシシが町を荒らしていることがわかりました。
(園部 隆太)



今後の予算や広野町の未来のことなど、色々話し合っ問題改善していこうかなと思いました。イノシシの問題や新しい火力発電所など、たくさんを決めていくのは、とても大変だと思いました。

今回は、3月までの広野町予算の使い方などたくさんを決めていました。
(水野 翔太)



ぼくは、前に議会場に行ったことがあります。でも、話し合いになるとドキドキ緊張してきました。議会場はとてもりっぱですごいなと思いました。
(齊藤 篤)



みんな予想以上に真剣に広野町について考えていて、驚きました。今後の予算の使い方について話し合っているのが、強く印象に残っています。これから、どんな町になっていくかが楽しみです。
(鈴木 章浩)



町でいろいろなことをする時には議会で決めてやっていくことがわかりました。イノシシがいわき市で820頭もつかまえられることがわかりました。

通勤や通学などで電車の本数が少ないので不便だということもわかりました。災害が起きた時に、町内で援助が必要な人が66人いることもわかりました。
(新妻 優亜)



議員さんが何を話しているのかも全然わからなくて、理解するのも大変でした。でも、何事もあのように決められていることがわかりました。
(根本 愛海)



あまり分からなかったけれども、予算のことやイノシシのことがわかりました。いわき市で820頭も捕獲されて、広野町でも何とかしなければならぬこと「たしかに…」と思いました。

また、「町の貯金がなくなるかどうか心配である」と言っていました。町長さんは、「復興のために基金を下げる」と言っていました。
(矢内 渚々美)